

プレミアム商品券効果、エアコン好調
消費増税の反動、レジャー関連が回復

夏商戦ヒートアップ



うだるような暑さが続き、エアコンは好調な
売れ行き。岐阜市数田南ヤマダ電機テック
ランド岐阜本店

県内もうだるような暑さが続くなか、夏商戦がピークを迎え、熱を帯びている。百貨店や専門店では梅雨明けした先週以降、夏物商品の売れ行きが急増。今年はプレミアム付き商品券が消費を後押ししているほか、昨年の消費増税の反動でレジャー需要にも回復の兆しが見え始め、各社とも夏のさらなる販売増に期待を寄せる。

(高橋友基、久松孝志)

熱中症予防商品も伸長

多治見市で最高気温が全国2位の36・9度を記録する猛暑となった28日も、ヤマダ電機テックランド岐阜本店(岐阜市数田南)には最新のエアコンを求める人が多数訪れていた。市橋雅裕店長によると、エアコンの売り上げは前年比3割増。台風などの影響で蒸し暑い日が続いた後の猛暑に加え、「プレミアム

のアウトドア用品、熱中症予防のアイスタオルが人気。担当者は「昨年の消費増税の反動と、今年は好天が予想され、ファミリー層のレジャー志向が高まっている。今夏は期待できそうだ」と笑顔を見せる。

男性用制汗シートや制汗剤が伸長しているのは、バラックグループでドラッグストア「Vドラッグ」を展開する中部薬品(多治見市高根町)。担当者は「梅雨明け以降、一気に売れている」。脱水症対策として経口補水液も注目度が高い。テレビCM効果などで認知度が上がり、昨年比で約2倍の売れ行き。「夏商戦は今がピーク。この2週間にかかっている」と期待する。

岐阜高島屋(岐阜市日ノ出町)では今週、定番の手袋や帽子、パランルなどUVカットなどの機能が「標準装備」(バイヤー)された女性ものが一気に動き始めた。売れ筋は袖付きストール。羽織りやすい上、一枚で日焼け止めと冷房よけの役割を果たすため、人気が高いという。「きもの鈴乃屋」岐阜高島屋店では、絞りの浴衣がコンスタントに出ている。価格は7万円前後とやや高めだが、人と違つ装いを求める40、50代の女性から根強い引き合いがある。